

第9回 市長と語る市政ミーティング実施報告書

開催日時	令和3年11月25日(木) 午後2時50分 ~ 午後4時10分
会場	柴橋地区コミュニティセンター 会議室
実施町会	金谷1、金谷2、金谷3、金谷4、金谷5
市政ミーティングの内容(意見交換等)	
<p>① コロナ禍にあり活性化事業が全て中止となっている。このような中でも、自主防災関係だけは手を抜けないので、今年度の事業として実施している。要望しているハード事業面では、側溝整備やガードレール移設に対応していただき感謝申し上げます。改善センターの隣にある火の見やぐら(S29.5月竣工)の老朽化が激しいので、撤去し新設願いたい。また、防災行政無線も雨風や住宅の気密性の高まりもあり、聴こえにくい状況にあるが、自主防災会でも出来る範囲で行動し、災害情報の周知に努めたい。金谷5町会の下稲荷神社から金谷バイパスに接続する農道の市道認定の件について、付近の住民の方にとっては生活道路となっている。市道認定とならなくても、このような生活道路に対する路面の舗装と冬場の除雪に配慮いただきたい。また、金谷下の墓地の向かい側にも、私道や農道の部分があることから、同様に検討願いたい。金谷消防団の定員は22名であるが、現在の団員は21名となっている。常時活動しているのは、10名程度であり、冬場の消火栓や防火水槽の除雪に苦慮している。これまでは、消防団活動を経て地域に溶け込み、地域活動につながってきた流れが途絶えて、地域を背負っていく人材が育たないのではないかと危惧している。</p> <p>→ 警鐘台については、今年度又は来年度に解体する予定であります。警鐘台に、防災行政無線が設置されていることから、解体後に新たなポールを設置し、移設する計画です。防災行政無線についても聴こえにくいとの声もありますので工夫して設置したいと考えております。農道、私道の整備については、それぞれ補助制度がありますが、要望の生活道路については、市道としての役割を果たしている側面もありますので、法定外公共物としての考え方に準じられるか検討させていただきます。問題となっている舗装、除雪に対応できるよう、前に進めてまいりたいと考えております。消防団については、団員数の減少が大きな課題として挙げられますが、他にも実際に活動している団員は半分程度であり、市外勤務の団員も多く、有事の際に対応できないなどの現状が見られるところです。消防団幹部とも協議しながら、入団者を増やせるよう、活動環境の改善に向けて検討してまいります。また、有事の際、消防活動ができる体制整備を図るため、現役を退いて日が浅い、地元勤務の消防団OBなどを準団員とすることなども含めて考えてまいります。</p>	

② 各家庭の敷地入口に引いているストップラインについて、6月下旬に、安全協会から町会にストップライン引きの協力要請があり、7月中旬に実施した。このたび、11月20日号の市報と一緒に配布になった文書によると、道路交通法上、側溝の上にストップラインを引くのは違法であり、消去するようとの文面であった。安全協会からの依頼でストップラインを引いているので、安全協会側の問題であると思われるが、どの様に対処すれば良いのか伺いたい。

→ 本日、寒河江警察署の署長より電話がありました。市民の皆さんにお願いして、引いてもらっているにも関わらず、高圧的な文書を出してしまい、多くの苦情を頂いたとのことで、謝罪させていただきたいとのことでありました。また、市側でもこの文書をそのまま配布し、配慮に欠けた対応となってしまう、申し訳ございませんでした。ストップラインについては、消去することなく、そのままの状態です。

③ 最上川沿いの急傾斜地の東側が崩れている。地権者は耕作していないものの、借りている方が耕作している。このため、杭を打ち、先に行かないように安全面で配慮しているが、改善策を検討いただきたい。また、要望している案件について、継続審査という回答を頂いているものがあるが、今後どのように進むのか、その都度、問い合わせないと分からない状況であるので、今後の見通しを示して欲しい。町内会に空き家が2軒ある。親族と連絡が取れる状況であるが、今後、高齢化がさらに進み、空き家が増えると、親族の連絡先が分からないケースも出てくると思われるが、市として、どのように考えているのか。

→ 急傾斜地の危険箇所については、きちんとした表示を設置する方向で検討してまいります。道路や側溝などの整備については、市内全域の各町会より多くの要望を頂いておりますが、限られた予算内で実施していく必要があることから、審査会を設けて、点数を付けて、優先度の高い順から実施させていただいております。何故、継続審査になっているのか、点数は何点なのかなどについて、説明するようにさせていただきます。空き家対策については、所有者と連絡が取れないような場合には、建設管理課までご相談いただければ、対応させていただきます。所有者に管理能力がないような場合には、市としても、敷地内の除草や家屋の解体などへの対応も検討してまいります。

④ 要望していた町会内の側溝整備を実施して頂き、感謝申しあげる。グランドワーク事業で実施する側溝の蓋の件について、駐在所の向かいの側溝43mに蓋がなく危険な状況であることから、今年度実施事業として5月に申請した。当初、建設管理課の説明では、実施の可否は、盆明け頃に判明するとのことであったが、その後、何の連絡もないことから9月頃に問い合わせたところ、まだ現場確認していない旨の回答であった。11月に入り、実施決定の連絡を頂いたが、余りにも遅い対応であったと感じている。冬期間での町内会作業となり、積雪の心配もあることから、今年度の実施を見合わせ、来年度事業に変更した経緯があるので、速やかな実施決定と冬期間の作業とならないよう改善願いたい。

→ グランドワーク事業については、事業決定が遅れ、大変申し訳ございませんで

した。来年度は、今年度の経過も踏まえて、市としても協力させていただきたいと考えております。

⑤ 町会内の道路補修については、ほとんど完了しているが、金谷バイパスへの接続道路に、一部亀裂が入り、穴が空いている部分があるので補修願いたい。

→ 現場確認し、対応いたします。

⑥ 空き家対策について伺いたいと思っていたが、先ほどの市長からの説明で理解した。

→ 所有者が県外の方などの場合、いろいろと調整が困難な面もあると思いますので、建設管理課に相談させていただきたいと思います。

⑦ 高齢者のサロン活動について、平均年齢も上がり、活動自体はできているものの、企画運営できる人材が不足している。対象者を広げるために、入会年齢を下げてきているものの、若い世代は入りたがらない実態がある。今後、このようなことが課題になってくると思う。

→ 年代が違ふと考え方も違ふということもあるし、年齢層が増えてくればますますその傾向は顕著になってくると思われまふ。老人クラブ活動自体が出来なくなっている地域も見られるところでありまふ。高齢者の方が地域の中で元気に活動できる場を設けていく必要があると感じており、元気な高齢者に向けた支援制度の充実を図ってまいりたいと考えております。

後日回答（担当課より）

<質問>

③ 最上川沿いの急傾斜地について

<回答>

急傾斜地の安全表示については、区長・町会長さんと、早急に打合せを行い対応いたします。また、急傾斜地を管理する山形県や最上川の管理者である国と継続して協議してまいります。 【建設管理課】

<質問>

④ グランドワーク事業について

<回答>

今年度は、事業決定が遅れてしまい、町会の皆様には多大なるご迷惑をおかけしました。来年度につきましては、早々に、町会ボランティアの方々との日程調整を行い、市も協力させていただき実施してまいりたいと考えております。

【建設管理課】

<質問>

⑤ 道路補修について

<回答>

道路の亀裂等については、現場確認し対応いたします。

【建設管理課】